

第 2 回日韓知事会議概要報告

(未定稿)

韓国側同時通訳録音装置不具合のためテープ再生不可

平成 14(2002)年 11 月 16 日～19 日

全 国 知 事 会

はしがき

本会は、大韓民国「全国市・道知事協議会」の招待を受け、土屋全国知事会会長（埼玉県知事）を団長とする代表団一行23名は、平成14年11月16日から19日までの4日間韓国を訪問し、11月18日にソウルで開催された第2回日韓知事会議に出席した。

会議では、「日韓自治体間の交流の促進について」を議題として、両国知事及び市長が熱心に意見交換を行い、両国知事会オンラインネットワークの構築、ポストワールドカップ共同対策の推進、次回会議を日本で開催することなどの共同発表を行った。

代表団は韓国滞在中、金大中大統領と会見を行ったほか、釜山広域市、慶尚北道（慶州）、ソウル特別市、仁川広域市を表敬訪問して、両国の地方自治、文化交流、産業等について意見交換を行うとともに、各施設を訪ねて日韓友好親善の実を高めた。

本報告書は、第2回日韓知事会議の概要を報告するとともに、韓国の各市・道での視察等を概略取りまとめたものである。

なお、今回の全国知事会代表団訪韓にあたり、ご配慮いただいた日韓両国の関係各位に深く感謝申し上げます。

【 目 次 】

I	第2回日韓知事会議の概要	4
1	会議	4
2	会議概要	5
3	共同記者会見	27
II	要人表敬の概要	29
III	全国知事会代表団滞在日程	34

I 第2回日韓知事会議の概要

1 会 議

- (1) 日 時：平成14年11月18日（月）14:00～17:30
- (2) 場 所：ソウル特別市庁舎 太平ホール
- (3) 議 題：日韓自治体間交流の促進について
- (4) 出席者：

（日本側）全国知事会会長

埼玉県知事 土 屋 義 彦
北海道知事 堀 達 也
岩手県知事 増 田 寛 也
鳥取県知事 片 山 善 博
青森県副知事 山 口 柁 義
鹿児島県副知事 脇 田 稔
全国知事会事務総長 嶋 津 昭
財団法人自治体国際化協会
ソウル事務所長 石 川 義 憲

（韓国側）全国市・道知事協議会会長

ソウル特別市長 李 明 博
仁川広域市長 安 相 洙
光州広域市長 朴 光 泰
蔚山広域市長 朴 孟 雨
京畿道知事 孫 鶴 圭
忠清南道知事 沈 大 平
全羅北道知事 姜 賢 旭
全羅南道知事 朴 泰 榮
全国市・道知事協議会
実務協議会委員長 元 世 勲

2 会議概要

(1) 代表挨拶、市長・知事紹介

○李明博大韓民国「全国市・道知事協議会」会長／ソウル特別市長

全国市・道知事協議会会長・ソウル特別市長の李明博です。尊敬する土屋義彦日本全国知事会会長様、そして日本代表団の皆様と大韓民国の市・道知事の皆様にお会いできて大変喜ばしく思います。

去る 1999 年日本で初めて開催された第 1 回会議に続き、今日第 2 回日韓知事会議をソウルで開催することは非常に意味深いと思います。

お忙しいのにもかかわらず会議に参加された皆様には感謝申し上げます。

今年 2002 年は韓日両国に非常に大切な 1 年でした。

去る 6 月、地球村最大の祝祭であるワールドカップサッカー大会がアジア地域では初めて韓国と日本両国で共催することになり全世界の注目を集めながら大成功をおさめました。

ワールドカップの成功は韓日両国がお互い緊密に協議して準備してきた結果です。ご存知のとおり去る第 1 回日韓知事会議は「2002 韓日共同ワールドカップサッカー大会」を準備するために両国の地方自治体らが協力を強化することに意味を集めたし、このように確固たる意志が大会の成功に大きく寄与したと考えます。

私は当時準決勝に進出した韓国チームを熱烈に応援してくれた日本青少年応援団を忘れられないです。青少年等の明るい熱狂と成熟した友情を見て私は韓日両国の明るい未来を発見できました。

今日会議は、韓日両国の地方自治体らが交流と協力の関係を一層発展させながら、両国の共同繁栄のために友情を固めて知恵を集めるのに意味があると考えます。

韓日両国の地方自治体は現在相当な水準の交流を進展させています。ソウル特別市と東京都の姉妹提携を含む、大韓民国の 64 自治団体と日本の 73 自治体が姉妹提携を締結しました。

韓日両国は地球村社会において隣でいとこのような関係と話しても遜色がないはずです。今後は今までの量的な交流に質的にもっと足して、大韓民国「全国市・道知事協議会」と日本の全国知事会が両国の指向する「21 世紀新しい韓日パートナーシップ」を行っていくにあたって一つの軸を預からなければならぬと考えます。

地方分権の促進のために、日本では全国知事会を中心にした地方自治体らが着実に粘り強く努力することによって「地方分権推進一括法」を施行していることと知っています。

現在、私が会長を務める大韓民国「全国市・道知事協議会」も中央と地方間の財源再配分等をより強化することになった地方分権のために、中央政府に中央政府に法制度改善を建議するなど多様な活動を展開しています。

今後、両国地方自治体等の努力が結実を結んで東北アジアの地方自治が世界

の模範になる時代がくるよう願います。

私たち大韓民国市・道知事らは去る 1999 年第 1 回日韓知事会議で土屋会長様をはじめとするあなたがたが見せられた熱い歓待を忘れられないです。

深い感謝を申し上げながら、これから出席市・道知事を紹介申し上げます。

まず、本協議会副会長の朴 光泰・光州広域市長です。

次に、安 相洙・仁川広域市長です。

次に、朴 孟雨・蔚山広域市長です。

次に、孫 鶴圭・京畿道知事です。

次に、沈 大平・忠清南道知事です。

次に、姜 賢旭・全羅北道知事です。

次に、朴 泰榮・全羅南道知事です。

以上です。

ありがとうございました。

○土屋義彦全国知事会会長／埼玉県知事

第 2 回日韓知事会議の開催にあたり、日本の都道府県知事を代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。

まず、李明博会長さんから大変ご丁寧な紹介を賜りましたことを、心から厚く御礼申し上げます。

我々全国知事会訪韓知事代表団をお招きいただき、心温まる歓迎をいただいたことに、重ねて厚く御礼申し上げます。

先ほど、李明博会長さんからご紹介がありましたように、この会議は、1998 年 2 月の金大中大統領の就任式に私が参列するため、訪韓した際、同大統領にお会いし、私が日韓知事会議の開催を提唱したところ、金大中大統領も賛同され、これを契機として、1999 年の東京での第 1 回日韓知事会議の開催に至ったものでございます。

以来、早いものでございまして、3 年が経過し、本日、ソウルの地で、第 2 回目の会議が開催されることを、大変喜ばしく思います。

また、本日の会議に先立ち、11 月 16 日から本日まで、李明博会長のソウル市、安相英市長の釜山市、李義根知事の慶尚北道にある慶州市を訪問させていただいたほか、明日は、安相洙市長の仁川市を御案内いただけることになっております。

訪れた各地で皆様方の心温まるお出迎えをいただき、地方行財政を中心とした様々な意見の交換や、地域の特性を生かしたまちづくりの実状や、さらには、貴国の優れた伝統文化や芸術に触れさせていただくなど、大変意義深く質の高いプログラムを提供していただきましたことに対しまして、代表団一同を代表して、深く感謝申し上げます。

今回の会議では、「日韓自治体間の交流の促進について」を議題として、日韓相互で幅広い意見や情報の交換をすることとしております。

私は、地方行政の責任者である我々知事や市長が、様々な分野において、意

見や情報交換することは、日韓両国の地方自治の進展に大きく貢献するものと確信いたします。

日韓両国は、相互に極めて重要な隣国同士であり、今日、アジア・太平洋地域の安定と繁栄を確保する上で、協力関係を一層強化することが必要であると私は確信いたします。

本日の会議が、大成功に終わったワールドカップサッカー大会と同様、大きな成果をもたらし、日韓両国の友好親善のきずながますます深まり、拡大していくことを念願し、私の挨拶とさせていただきます。

では、引き続きまして日本側の出席者をご紹介します。

北海道の堀 達也 知事でございます。

岩手県の増田 寛也 知事でございます。

鳥取県の片山 善博 知事でございます。

青森県の山口 証義 副知事でございます。

鹿児島県の脇田 稔 副知事でございます。

全国知事会の嶋津 昭 事務総長でございます。

それから、大変皆様方にお世話になっております自治体国際化協会ソウル事務所の石川 義憲所長でございます。

以上でございます。

ありがとうございました。

(2) 1次会議：参加自治体の紹介

○朴光泰／光州広域市長

光州広域市長 朴光泰です。

世界は今や国境と障壁を超越したグローバル時代に立ち入った状況で今日このように第2回韓日知事会議がここソウルで盛大に開催されたのに対し敬意を表しながら今日を出発点に両国自治体がより生産的で実質的な交流の場になることを願ってやみません。

私が市長をしている光州市は‘光の州’という意味です。今から1,000年前高麗時代から使われ、2002 ワールドカップで大韓民国の4強神話を創造した都市として、大韓民国南西部に位置する人口140万人、面積501k m²の都市です。

日本の箱根町と静岡市と似た緯度上にあつて、ここソウルからは南に約300kmくらい離れていて、陸路では4時間、空路では50分余りを必要とするところであります。

わが市は昔から周辺の豊富な農産物と温和な気候を背景に趣と余裕、情感があふれる故郷として詩歌文学、パンソリ、南宗画の大家らを数多く輩出して芸郷と呼ばれていて、都市に隣接した1,187mの無等山をはじめとして山の斜面に位置した瀟灑院、為替壁党、式影幀などは過去の歌辞文学に対する情趣と香りをそのまま感じることができる所であり、国立博物館及び市立民俗博物館には各種遺物と伝統民俗資料らが所蔵されていて、全羅南道の文化と風習を一目で体験できる所でもあります。

わが市ではこのような豊富な文化的土壌を土台に2年ごとに開催する光州ビエン

ナルレを開催して今年第4回大会を開催し、順次水準が向上して世界的文化芸術祭として名声と評価を受けています。

各種の食べ物が豊富で食べ物の味が飛び抜けた美郷としての長所を生かし毎年キムチ大祝祭を開催して韓国キムチの本山として味と風味をかもし出していて毎年日本でもキムチ行事を開催してわが国固有のキムチの味をお披露目しています。

それだけでなく私たちの地域には不義と独裁に屈しない義に徹した精神が綿々と流れる義郷として80年5月軍部独裁に抵抗し犠牲になった325名の英霊を祀っている国立5.18墓地があって民主化の聖地として全世界の訪問客らが列をなします。

わが市の産業構造はかつては3次産業（全体の81.3%）を中心に構成されていたが最近の産業構造の高度化により21世紀の地域産業の方向を先端産業育成に置いて光産業（Photonics）を地域の戦略産業に定めていて、まず第1段階で2003年まで総額4,081億ウォンを投入して光集積団地造成、光産業振興会設立、光技術研究開発など光産業基盤を造成しながら光通信、光精密、光源、光素材分野を集中育成していて2010年には東北アジア最大の光産業集積地として跳躍するようになることであり、今後この分野で日本とは多くの交流が必要だと考えています。

併せて、わが市が保有している豊富な文化芸術資源と栄養を土台に「デザイン拠点都市」を育成していてテクノパーク団地内に「先端所在部品研究開発支援センター」を設立して

自動車新素材及び先端部品技術開発を推進していて382万坪の産業団地を造成して自動車、機械、電器、電子、タイヤなど各種製造業が入居した外国人専用団地を拡大造成して

長期低価格賃貸など多様なインセンティブを付与することによって外国企業が容易に投資できるように投資条件を改善し光州全南テクノパークと優秀人材を確保している地域大学、先端企業間の産学研協力引き出すことができる地域技術革新体系がよく具備されています。

それだけでなく、わが市はかつて疎外された後発都市だったことから清潔な空気、澄んだ水、豊富な戦力などよく保全された自然環境を備えていて環境に優しい産業発展を進める最適の条件を備えています。

今後、韓日両国自治体がより粘り強く友好的な協力関係を持続的に維持発展させて行くことによって両国の繁栄はもちろん地方自治発展に新しい転機がもたらされる契機になることを祈願します。ありがとうございました。

○安相洙／仁川広域市長

こんにちは、仁川広域市長の安相洙です。まず第2回韓日知事会議開催を心より祝福いたします。

この席を通し韓日両国知事及び市長が会うようになったことを非常にうれしく思います。今回の韓日知事会議が両国の友好を深める契機になるよう願っています。

私たち仁川広域市は、国際空港と港湾を持った空と海に通じる国際関門都市

で、既に全世界に門戸を開放した開いた都市です。

仁川広域市では、これから松島情報化新都市の造成で、国際ビジネス中心都市としてのその可能性が、一層もっと足すようになりました。このような無限な可能性と世界へ開いた都市、私たち仁川広域市に皆様のたいなる関心をお願いします。

日本の北九州市とは 88 年から姉妹都市として関係を結んで活発な交流があり、特に今年私たち仁川広域市では、韓・中・日 3 国 10 都市が参加する第 5 回東アジア都市市長会議が開催されて、環黄海圏の共同繁栄を提案する宣言文を発表する等、国際都市間協力を図りました。

今後とも日本の自治体との多様な分野で、より一層多くの文化芸術、スポーツ、環境問題の共同解決など相互交流が拡大することを期待します。

今回の第 2 回韓日知事会議が、韓日両国の友好を増進して、地方自治体間の発展にも寄与できることを期待して、両国知事及び市長の皆様のご健康と家庭の平和を祈願いたします。どうもありがとうございました。

○堀達也／北海道知事

北海道知事の堀です。日韓知事会議にお招きいただき心からお礼申し上げます。また、韓国の市長・道知事の皆様とお会いでき大変うれしく、そして光栄に思っています。

韓国には 9 つの「道」という自治体があるが、北海道は日本では唯一の「道」という自治体で、日本列島の最北に位置しております。面積は日本の国土の 22%、日本の 47 都道府県の中では最も広く、ヨーロッパで申し上げますと、オーストリア一国の面積に匹敵をいたします。

日本の北のゲートウェイとして世界各地との「架け橋」としての役割を果たしていきたいと考えております。北海道の特徴であります、大自然の宝庫で、雄大な山岳やそこに広がる原生林・高山植物、広大な湿原や湖沼などが北国らしい風景を形成しております。これら豊かな自然環境に加え、日本の中でも、さわやかな夏や、野山が白一色になる冬景色、これからがそうでもありますけれども、鮮やかな四季の移り変わりが北海道の特徴であります。

さらに、新鮮で美味しい山海の幸、泉質が豊富な温泉など、観光資源に恵まれ、国内でも有数の観光地です。

北海道の持つ潜在性・優位性を活かし、プロモーション事業を展開して、東アジアの皆様一人でも多くの方に来ていただけるように海外ミッションの派遣、国際観光展への出展を行っています。最近では、ハングル語、英語によるホームページ、大型カラーコルトン（広告板）をソウル市内に掲出を行っています。そういった結果が最近大きく出ておまして、東アジアから約 20 万人の皆様方にお出でいただいている。とりわけ、北海道・小樽を舞台にした映画「ラブレター」をきっかけに韓国のお客様にも多くお出でいただいています。2001 年度には 2 万 8 千人の皆様方にお出でいただいて厚くお礼申し上げます。

航空路線は、大韓航空による「新千歳・ソウル線」が、1989 年に開設をさ

れまして、今年、利用者が 100 万人を達成しました。道民、貿易・観光関係者から増便の要望があり、道としてもできるかぎり協力してまいりたいと考えています。また、外国貿易定期コンテナ航路は、現在 7 路線あります。釧路～釜山航路が 8 月 31 日に開設して、今後の需要に大きく期待しているところです。

今回の韓国訪問のもう一つの目的は、ソウル事務所の開設で、青森県、岩手県、秋田県とともに 4 道県合同の事務所を韓国に設置したいと昨年から話を進めてまいりました。この度、ソウル市内に開設できる運びとなりました。明日、19 日に開所式を行います。関係各位には大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。当面は主に観光関連業務、将来的には物産関連業務なども行ってまいりたいと、このように思います。ソウル事務所開設を契機に、韓国の皆さんに北海道の観光はもとより、質の高い食品などに関する情報をこれまで以上に知っていただき、貿易の一層の振興と発展にもつながる様々な分野の交流がより一層深めるよう取り組んでまいりたいと考えています。

議長から先ほどお話がありましたように、日韓の共通の話題は何と言いましても、ワールドカップサッカーの日韓共催の成功であります。北海道においても「札幌ドーム」で 3 試合が行われました。私は、この大会を通じて、世界の人々がスポーツを通じて競い合い、理解し合えるということに強く感銘を覚えたところです。このような精神を両国の子どもや若者達に引き続き、日韓の交流が一層深めることを期待しております。今回のワールドカップで培った「おもてなしの心」で、韓国の皆様をはじめ、北海道を訪れる各国の方々をお迎えしたいと思います。

今回の会議を機に、韓国と日本、両国自治体間の友好・協力が一層推進されることを期待してやみません。どうもありがとうございました。

○片山善博／鳥取県知事

鳥取県知事の片山です。今回、40 回目の韓国訪問です。鳥取県は、日本の中では西の方、中国地方で日本海に面しております。従来日本では、日本海に面している地域は裏日本ということで、活力がなく元気がない地域でありました。それが、今日、東西冷戦が終わりまして、経済的にも政治的にもむしろ表日本となりました。鳥取県には、境港という大きな港がありますけれども、境港と韓国釜山港の間に定期航路がありまして、毎年 2 桁の貨物の輸出入が伸びています。我々の地域、例えばアメリカとか東南アジアですけれども、釜山港を経由して輸出入を行う物流になっている。去年 4 月から鳥取県米子空港と仁川国際空港と新しく定期便ができて、おかげさまでほぼ満席で、席がとれない状況です。

韓国とは長い間交流を行っておりまして、鳥取県は江原道と姉妹提携を結んでおり、県庁所在地の鳥取市が忠清北道の清州市、倉吉市が全羅南道の羅州市と、米子市が江原道の束草市と姉妹提携を結び、後県内の町村が韓国の市または郡と姉妹提携を結んでいる状況で、日本で一番姉妹提携が多い県です。韓国との行政面での交流にとどまらず、文化、子供達、教育、女性、社会福祉の分

野を定めまして、交流を進めています。韓国系のスタッフが鳥取県内で 18 人おります。そのうち 2 人は韓国語の語学教師で、高等学校で韓国語を教えています。11 人が国際交流員で日韓交流を進めています。在日の正規県職員が 2 人県庁に勤務しており、大変優秀な方です。そのほか在日の国際交流員が 3 人いらっしゃいます。これからも是非日韓の間で多様な交流を進めていきたいと思いますが、当面は観光分野の交流、韓国からの観光誘致を進めたいと思います。ゴルフ場、温泉もありますし、韓国ソウルから一番近い定期航空路がありますので、ぜひ多くの方に来たいと思います。

少しご紹介しますと、韓国の若い人達に人気の女性 4 人の歌うグループ「シユガー」の 1 人「あゆみ」は鳥取県の出身です。どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

○孫鶴圭／京畿道知事

尊敬する土屋義彦会長、堀達也北海道知事、増田寛也岩手県知事、片山善博鳥取県知事、そして李明博ソウル市長をはじめとする内外貴賓の皆様！こんにちは。私は京畿道知事の孫鶴圭です。

私たち京畿道は 31 市・郡があり、1,000 万人の道民が住んでいます。京畿道は韓半島の中心に位置して、大韓民国経済規模の 23% を占めて、知識基盤産業の 37%、半導体産業の 67% が所在している韓国経済の中心地域です。

このような物理的基盤を土台に、去る 7 月 1 日スタートした民選 3 期の京畿道は‘大韓民国の京畿道’を飛び越えて‘世界の中の京畿道’を道政目標に設定しています。世界中のどの地域とも競争できる優秀な人的・物的資源と立地上の比較的優位性をはじめとし、無限な成長潜在力と良い条件を活用して‘東北アジア地域の経済中心地’に位置付けられるために多角的な努力を展開しています。

現在、私たち地球村は 21 世紀の世界化・情報化・地域化の急激な変化を体験しています。国境のない無限競争時代を迎えて地方の役割と競争力が国家の生存戦略に占める比重が日々大きくなっていて、より開放的で弾力的な地方経営が強調されることも、このような時代的趨勢に基づいていると考えます。

過去、中央政府の独占的領域だった国際交流・協力と通商・投資の問題までも順次地方政府の主要機能の中の一つに変わっています。

このような観点で見る時、今日、席を共にした日本と韓国の知事会は今後その役割と方向がより具体化され実質的な相互利益の場として発展しなければならないと思います。

今年 6 月に開催された第 17 回ワールドカップ大会は両国の底力を全世界に思いきり見せた快挙であり、同時に日本と韓国両国間の共同協力事業の偉大な里程標を残したと考えます。

その間、私たち京畿道は地方自治体間交流協力の重要性を認識して相互理解と信頼に基づいた親善関係をより強固にしていこうと多くの努力を傾注してきました。一例として、去る‘90 年日本の神奈川県と姉妹提携を結び、公務員の相互派遣・陶器展・芸術団交換公演など多様な分野での協力事業を推進していて、今後、日本・中国との 3 地域友好交流会議など東北アジア地方自治体と

の交流・協力をより一層強化していく計画です。

今回の第2回韓日知事会議を通し、韓国的心臓部‘京畿道’を紹介する機会を持つようになったことは、非常にうれしく意義深いことだと考えています。

終わりに、今日のこの意義深い席を準備する過程で苦勞してくださった、李明博会長と土屋会長に心より感謝申し上げます。

○増田寛也／岩手県知事

岩手県知事の増田寛也でございます。

第2回日韓知事会議にお招きいただきまして、尊敬する李明博ソウル特別市長さんをはじめ各市長さん、知事さんにお目にかかれることを大変光栄に思います。

岩手県は緯度にしますと、北緯39度から40度、日本では北東部に位置し、先ほど話がありました北海道に次ぐ広大な面積の県であります。それだけに大変雄大な自然がまだ数多く残っておりますし、四季の変化が大変はっきりしており、美しい県でございます。

明日、北海道、青森県、秋田県とともに、ソウル事務所を設置するということで、これから、さらに韓国との交流が活発化することを期待をしているところでございます。

実は、岩手県は今回の出席している県の中では、ソウルとの間で直行便の航空路がございません。現在のところは、チャーター便での運航となっております。すでに数多くの方々が観光にこられたり、それから岩手からも韓国に訪れておりますけれども、いずれはそうした人達の数をさらに増やして定期便化をいたしまして交流を深めていきたいと考えております。

岩手県は歴史的に申し上げますと、古くは農林水産業中心の県でした。それだけに各種の食材、これは海のものも、山で採れるものも、数多く恵まれており、食事のおいしいところです。近年に入りましてからは、半導体の製造工場、東北で唯一の自動車の組立て工場、大変ハイレベルの近代的な工場が数多く展開しておりますし、さらに空港に大変力を入れているところでございます。

今年は、ワールドカップ開催ということで、日韓様々なイベントが日本各地で開催されましたけれども、岩手県においても日韓の交流をさらに促進する「日韓芸術祭」、韓国の伝統工芸品等を展示販売する「大韓国展」等のイベントが数多く行われ、非常に多くの県民の皆さん方が参加されたところでございます。

今まで自治体の職員研修という形で、韓国から岩手県に来られた優秀な方々がおられますし、県内の大学に留学している方もおります。岩手県立大学と韓国の慶尚大学との間で学術交流協定を結んでおります。また、逆に岩手県の高校生が韓国へ修学旅行に出かけるといったことで、特に若い人達の交流が最近だいぶ活発化しているところでございます。

先ほど申し上げましたように、直接の航空路の開設がなかったのも、岩手県という名前が韓国の中で、それほどなじみのある名前ではないかも知れません

がけれども、明日ソウルに開設いたします事務所を拠点といたしまして、韓国各地域の自治体の皆様方とさらに交流を十分深めて、特に若い人たちとの交流に力を入れて、これからこの分野の対策に取り組んでいきたいと考えているところです。これから、私もたびたび韓国に来ることが多くなると思いますが、今回はソウル中心でございますけれども、他の自治体にもおじゃまをさせていただきたいと思っております。今回、このようなすばらしい機会を与えていただきましたことを心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

○朴孟雨／蔚山広域市長

尊敬する李明博議長、市・道知事の皆様。

そして韓国を訪ねて下さった日本の知事、副知事の皆様に心から歓迎いたします。

大韓民国蔚山広域市長の朴孟雨です。

今日、第2回韓日知事会議がここソウルで開かれるようになったことを非常にうれしく思います。そして韓国で最も若くて躍動的な都市蔚山広域市を皆様に紹介するようになったことを光栄に存じております。

蔚山広域市は1962年、特定工業地区に指定された以後、自動車と造船、石油化学を中心に韓国の経済を率いている韓国で7番目に大きい都市です。この会議が開かれているソウルが韓国の首都ですが、私たち蔚山は産業の首都ということができます。

蔚山広域市の人口は110万人で韓国の人口の2.2%を占めています。面積は1,055k m²で韓国の広域市の中で最も広い面積を持った都市です。

首都ソウルより1.7倍大きい都市面積を持った蔚山は大水深の港湾と美しい自然、多様な文化遺産がある都農複合型都市として成長潜在力の面ではどの都市より大きいと申し上げることができます。

蔚山広域市には31社の日本企業が進出して両国間経済協力に多くの寄与をしています。蔚山広域市は4～5千年前、先史時代以後海と深い関連を結んで発展してきました。

世界的な文化遺産として評価を受けている先史遺跡、盤亀台岩刻画はもちろん、576年前、韓日交易の関門の役割をした塩漬けの干し肉、韓国の経済成長を先導した蔚山港に至るまで、蔚山は海を中心に発展してきたのであり、大陸の文化と南方の海洋文化が会う文化要衝地の役割を果たしてきました。

わが市はこのような特性を生かし、蔚山を東北アジアの物流拠点都市として発展させるために、現在29船規模の新港湾建設を推進していて、新港湾背後地域に自由貿易地帯指定と新産業団地造成を計画しています。

併せて、20世紀蔚山の成長を先導した自動車と造船、石油化学など主力業種の競争力強化のために、自動車部品素材産業の生産、研究・開発、展示とマーケティング機能を総合した国内最大のオートバレー造成と精密化学総合支援センター建設も積極的に推進しています。

蔚山広域市は地理的に見る時、日本と最も近いところにある都市であり、蔚

山と日本には多くの交流と協力の遺産と遺跡が散在しています。

韓半島で日本列島と最も近い都市は蔚山と日本の山口県萩市です。蔚山広域市はそういう特性により韓日間都市交流を最も早く始めた所です。萩市とは30余年間姉妹都市として同伴発展のため交流と協力を拡大しています。

日本の島根県出雲市の銅鉦山は、蔚山広域市の青銅器文化とも深い関連を持っていて、韓国の代表的な捕鯨港だった蔚山の長生浦は100年前、日本の長崎港の捕鯨会社とも関連を持っています。

築城術の大家として評価される加藤清正と浅野行長が築城した西生浦城は現在までもよく保存されていて、加藤清正が築城したことで知られている熊本城の原形が蔚山の鶴成であったという点で両国間交流の深さを感じるようになります。

わが市はこのような韓日交流の経験を土台に去る4月には日本の北九州との定期旅客航路を開設し、新潟市と茨城県、大分県等日本の多くの都市等の多様な交流を拡大しています。

私はこのような両国間交流と協力がより成熟した同伴者関係の成立はもちろん共同の利益と繁栄をなすために非常に有益だと考えます。

今日、この会議も韓日両国が共同で開催したワールドカップの成功を土台に韓日都市間の経済、社会、文化など多方面にかかる交流と協力を拡大するのに大きく寄与するはずだと確信して、多くの期待を持っています。

私たち蔚山広域市は、韓日地方都市間の交流と協力を拡大し、共同の利益を増進させるため、今後も積極的に参加するつもりであり、蔚山広域市を紹介できる機会を下さったことに対しまして、感謝申し上げます。

○山口 枢義／青森県副知事

第2回韓・日知事会議にお招きいただきましたことに深く感謝いたします。知事が地元を離れられない公務のため、代理として出席させていただきました。

韓国の市長さん、道知事さんの皆様とお会いできましたことは大変光栄に思います。

はじめに青森県のご紹介をいたします。青森県は、日本列島の本州の最北端に位置しますが、北海道の南でございます。東は太平洋、西は日本海、北は津軽海峡を挟んで三方を海で囲まれた四季の移り変わりが鮮明な地域です。面積は、96万²、全国で8番目の広さで、このうち64%が森林となっています。このように、森と海に恵まれている本県は、世界遺産にも登録されているブナ原生林の白神山地や十和田湖を核とする十和田八幡平公園など自然環境が豊かな地域でもあります。

交流については、韓国とは1995年4月に青森・ソウル間の国際定期航空便を開設し、現在も観光面を中心に60%台の搭乗率、年間約3万人の利用となっております。1985年から1999年の間、青森県青年の船による青年との交流・交歓、技術研修員の受入、国際交流員の招致などにより、交流を積極的に進めてきました。また、最近では高校生の修学旅行等で訪問させていただいております。若い人たちが、お互いの

歴史・文化に触れることができ、人づくりの面で成果を挙げてきております。また、本県の青森市と平澤市をはじめとする2市2町2村が姉妹都市等の友好提携を結んでいます。

これからの日本はひとつの県で行政を展開していくことは財政的にも厳しい状況にあります。また、日本では、2000年に地方分権に関する法律が成立し、中央から地方へ権限、財源の組み替えがはじめろうとしています。こういった状況の中で、地方の自治を生かすには2、3の県がひとくくりとなってやっていくことが、地域にとって、財政的にもより大きな効果を発揮できるものと考えております。これには、役割分担、機能分担していくことが必要と考えます。いま、本県は岩手、秋田県と一緒に北東北3県という枠組みのなかで観光面や環境面で連携を図りながら、施策に取り組んでおります。先ほど、北海道の知事、岩手の知事さんがお話になられましたソウルの合同事務所もそういう理由によるものです。

最後に、来年2月1日から8日まで、第5回アジア冬季競技大会が、青森県で開催されます。貴国で開催されました夏のアジア大会、あるいはまたワールドカップと同様に是非とも成功させたいと思います。韓国からは約210名程の選手・役員のエントリーをいただいております。アジア地域からたくさん選手・役員が青森を訪ねてくることとなりますが、私ども青森県ではこの選手・役員の皆さんが全部ソウルを経由して日本に来るように各国にご案内をいたしております。開催に際しては、選手、役員、応援される皆様を県民あげてお迎えしたいと準備をしております。これまで私どもは江原道での先の大会・第4回のアジア冬季大会であります。それから夏の大会をやられました釜山両都市に非常にご指導いただきました。今後ともいろいろご指導をいただきながら大会を成功させたいと思いますので、よろしく申し上げます。今日はありがとうございました。

○沈大平／忠清南道知事

こんにちは。忠清南道知事の沈大平です。

土屋義彦埼玉県知事をはじめとする日本の全国知事会代表団の皆様のご訪問を心より歓迎いたします。お会いできてうれしく思います。

忠清南道は緯度上では東京と同じような位置にあって、面積は8,600k m²、人口は193万人で、行政区域は6市9郡1出張所があります。

産業構造はS O C及びサービス業が51.9%、農林漁業が33.2%、鉱業及び製造業が14.9%であり、1人当たり地域内総生産（GRDP）は11,379\$で全国2位を記録しています。

忠清南道は歴史的に日本と交流が煩雑だった過去の百済の首都である公州と扶余が位置した百済文化の中心地で道内あちこちに歴史文化史跡地が多くあって日本の観光客らが楽しみながら史跡を探す地域です。

また、首都圏に隣接しているながら鉄道、高速道路など交通網がよく発達しているうえに中国と近く向き合っていて環黄海圏の産業と交易基地として発展潜在力を認められています。

私たち忠清南道ではこのような点を生かして全域を4つに分けて圏域別に特性ある開発事業を表面化させて行っています。

特に、西海岸の安眠島には3.8k㎡面積にコンベンションセンター、馬蘭ワールド、ゴルフ場施設などを揃えた国際的高級休養地開発事業を推進していて、この事業を加速化するために内陸と安眠島間の海を横切る7.18kmの沿陸橋を架設する計画で来年に実施設計に着手するようになります。

また、公州と扶余地域などに2005年まで総2兆1,435億ウォンを投資して百済文化圏総合開発事業を推進しているので、扶余地域に造成している「百済歴史再現団地」という百済時代の宮廷、軍事村、民俗村などを復元して当時の文化と社会像を一目で観覧できる名所になるはずです。

伝統的農業道を自慢する私たち忠清南道は農業革新のために「農業テクノパーク」または生命技術産業育成のための「畜産バイオテクノパーク」等にも力点をおいています。

私たち忠清南道の農業特産品中「錦山人蔘」は特によく知られていて、全国販売量の80%が錦山で流通されていて、2005年には「人参EXPO」を開催する計画です。日本の知事の皆様の大きい関心と参加をお願いします。

今年4月26日から5月19日まで国際園芸生産者協会(AIPH)の公認の下に開催された「安眠島国際花博覧会」に兵庫県知事と熊本県知事が参加してくださる等日本の知事との協調で日本でも多くの団体と企業で参加してくださって、また、博覧会も盛況裡に終えることができました。

この席をお借りし大変感謝するとともに、来年に静岡県で開催する花博覧会に私たち道でも積極的に参加する計画であります。

忠清南道は過去の百済時代について日本とは非常に緊密に交流と協力をしてきた地域で、1983年から熊本県と姉妹提携を結んで毎年公務員交流をはじめとして文化、経済分野の協力をしてきているゆえに両地域の住民たちの間には非常に友好的で、親密な雰囲気成熟していると考えます。

今後も韓・日知事会をはじめとする両国自治体間の交流がより一層活発になされて地域間の発展はもちろん、国家的でも非常に望ましい善隣友好関係がより一層篤実に固められることを期待しながらここで挨拶を終えます。ありがとうございました。

○脇田 稔／鹿児島県副知事

鹿児島県副知事の脇田でございます。

第2回日韓知事会議にお招きいただきましたことを大変光栄に存じますし、感謝を申し上げます。

鹿児島県は、日本列島のなかでも九州に属しておりまして、最南端に位置し、大変気候の温かい地域でございます。島が大変多く、南北約600kmにわたる広大な県域の中に、世界自然遺産に登録されている約7,200年の樹齢を数えす屋久杉のあります屋久島をはじめ、奄美群島など珊瑚礁に囲まれた南の島々、マグマのエネルギーを肌で感じさせる活火山の桜島、豊富な温泉など、豊かな自然環境に恵

まれております。約 9,500 年前の国内最古・最大級の定住化集落遺跡「上野原縄文の森」や日本唯一のロケット基地「種子島宇宙センター」など、多様な観光資源にも恵まれております。

また、韓国との関係では仁川国際空港との間には、大韓航空が週 3 便就航しており、この路線を通じて、大韓民国の間では観光や文化などの交流が盛んに行われております。特に冬の時期には、温泉とゴルフを楽しまれる韓国からのお客様が大変多くいらっしゃいます。

特に、友好交流につきましては、全羅北道との間におきまして、1989 年に「友好協力の推進に関する共同宣言」を調印をいたしました。その後、様々な形で公務員研修、これはいままでに 1,500 人を上回る数を受け入れをいたしておりますけれども、1994 年からは、「鹿児島・全羅北道交流会議」を開催するとともに、関連事業として観光展・観光セミナー、貿易商談会なども開催いたしております。このほかに市町村の交流、あるいは民間との交流、様々なございまして、青少年等のスポーツ交流、文化交流、商工会議所の姉妹盟約締結など、幅広い分野において民間や行政レベルでの交流が活発に行われております。

さらに、去る 10 月 9 日から 12 日にかけて、当県において、全羅北道の姜賢旭知事さんにも御参加をいただき、「日韓自治体友好交流会議」が開催され、両国の地方自治体間の交流推進や、民間レベルでの地域間交流の促進などを盛り込んだ「鹿児島宣言」が採択されております。

「日韓国民交流年」及び「日韓共催ワールドカップ」開催の記念すべき年に、両国の自治体関係者約 300 名が歴史上初めて一堂に会したことは、大変に意義深いことであったと存じております。

鹿児島県は、地理的な特性を生かして、アジアを中心とした世界に広がる「南の交流拠点の形成」を目指してございまして、今後ともアジアの各国・地域との交流推進を積極的に進めてまいりたいと考えております。特に大韓民国とは歴史的にも大変関係が深うございます。また、鹿児島県には、在鹿児島大韓民国名誉総領事として陶芸家の第 14 代沈寿官氏が活躍をされる土地でもございます。1998 年には薩摩焼発祥 400 周年記念祭が催されましたし、また、同年には小淵総理、金鍾泌首相も出席されました日韓閣僚懇談会も開かれました。今後とも、行政から民間まで幅広い交流に務めてまいりたいと考えております。また、様々な分野の交流がますます盛んになることを期待申し上げます。

○姜賢旭／全羅北道知事

大韓民国全羅北道知事の姜賢旭です。

まずお忙しい中にもかかわらず第 2 回韓日知事会議参席のために、わが国を訪問してくださった土屋義彦日本全国知事会会長をはじめとする日本側知事の皆様にお目にかかれ大変うれしく思います。

全羅北道は韓半島の西南部に位置し、東は慶尚北道、北は忠清南・北道、西の方には黄海を間に置き、中国の東部沿岸である都市の上海、青島などと隣接

して、21世紀東北アジア時代を主導する潜在力ある地域であります。

総面積は8,051k m²で全国の8.1%を占めていて、人口は2,006千人で大韓民国総人口の4.2%であります。

交通条件は湖南線、全羅線鉄道と湖南、西海岸、大田～統營間高速道路、群山空港と現在進行中の金堤空港、そして主要幹線道路網がよく取り揃えてあります。

地域内総生産は16兆9,890億ウォンで全国の3.4%を占め、産業構造は1次産業13.5%、2次産業28.1%、3次産業58.4%で主生産製品は自動車、機械、化学製品、飲料食品が主流をなしています。

私たち全羅北道は三国時代百濟文化の中心地で朝鮮王朝の発祥地で古くから豊饒の中に生活の余裕を楽しむ農耕文化の土台の下書芸、パンソリ、農楽、唱劇など趣をもったきらびやかな伝統文化芸術と国難を克服した先賢等の忠節の精神が生きている所であり、四季観光を楽しむことができる快適な自然環境など全国どの地域より多様で優秀な文化・観光資源を保有した地方であります。

私たち全羅北道は、このような豊富な発展潜在力とよく保全された天恵の自然環境を土台に地域の特性を生かした比較優位の産業である生物・生命工学産業、自動車部品及び機械産業、文化映像産業を集中育成して強い経済を実現して、最適の投資環境を造成するために、新万金（セマングム）総合開発事業（防潮堤33km、国土拡張40,100ha）金堤空港、群山港湾、高速道路建設など大規模社会間接資本拡充と共に既造成の全州科学産業団地等に対する立地条件を改善しております。

特に、中国市場進出に最も容易で投資者が満足するだけの社会間接資本を揃えている群山地域に自由貿易地域を指定して、外国人投資者らに租税を減免し、財産賃貸、補助金支援など各種インセンティブを提供しています。そして、外国人らがより自由に経済活動ができる経済特区として指定を受けるために努力しています。今日、参加された知事の皆様が全羅北道投資に格別の関心を持ってくださることをお願いいたします。

先ほどお話した通り全羅北道は天恵の自然景観と由緒深い伝統文化芸術がよく保全された千年の古都として全季節と味を楽しんで観光できる最適の地域であります。また、2003年9月～10月中に全州世界ソリ祝祭と世界書芸ビエンナーレをはじめとする水準高い文化行事が各地域で多様に開催されます。日本の観光客が全羅北道を訪問することができるように知事の皆様の積極的な協調をご要請申し上げます。

全羅北道は今日、脇田副知事が参加してくださった鹿児島県をはじめ、石川県と姉妹提携を結んで人的・物的交流が活発に行われております。

今後、私たち全羅北道と日本地方自治体間の各種経済的・文化的交流などがより一層拡大することを希望するとともに、今日の会議が両国地方自治体間の発展に大きく寄与し、友好が増進されることを期待いたします。

韓日知事会の皆様の健康と幸運が常にともにあることを祈願します。ありがとうございました。

○朴泰榮／全羅南道知事

こんにちは。大韓民国全羅南道知事の朴泰榮です。

今日、韓国と日本の知事及び市長の皆様が一同に集まり友好増進と相互協力を図るようになったことを非常に意義深いと思います。

私たち全羅南道は日本国民に王仁博士の故郷でよく知られた地方として韓半島の西南端に位置していて、約 12,000k m²の面積に約 210 万人の住民が居住しています。

私たち全羅南道は肥沃な平野と 2,000 にもなる島、そして約 6,400 kmに達する長い海岸線が壮観を演出しており、多様で豊富な文化遺産を保有し、私たち地方を称して「芸郷」と呼んでいます。

私たち全羅南道は同様に美しい自然環境と文化芸術が生きる地方ですが、惜しいことに産業化は大きく進展されていなくて道民の所得が比較的低い方です。したがって、私たち道では多くの働き口を創出して経済的にも豊かなまちづくりのため最善の努力を傾注しています。

このような中で私たち全羅南道で最も重点をおいている 3 種類の経済発展の方向は、まず、私たち地域を企業活動を行うために最も良い条件を作って国内・外の企業と投資を積極的に誘致しようということです。

2 番目は、私たち全羅南道の豊富な文化遺産と秀麗な自然景観を最大限活用して世界水準の文化観光地を育成することです。

3 番目は、高品質の農水産物を生産して国内外の販路を拡大して農漁村経済を活性化することです。

これとともに、地域発展の最大関門である社会間接資本施設の拡充にも力点をおきながら、特に“新しい共同体のための海と土地の出会い”という主題で私たち地域の麗水市で開催しようとする「2010 年世界博覧会」誘致のために中央政府と一緒に最善の努力を傾けています。

来る 12 月 3 日の開催候補地決定を控える現在、わが国と中国、そしてロシアが競争を繰り広げています。2010 年世界博覧会が私たちの麗水に誘致になれば韓国はもちろん隣国である日本にも多くの観光客が殺到して経済的な波及効果が非常に大きいことと期待しています。したがって、この席にいらっしゃる両国の皆様におかれましても大いなる関心と声援を送ってくださるようお願いいたします。

尊敬する韓日知事会の皆様！世界は今すべての壁を取りはらって活発な交流をしています。既に経済的な側面では国境も消えて久しくなります。いわゆる世界化という波が地球村をぎっしり覆っている今、最も近い隣国である韓国と日本の知事会の皆様がこのように一席に集まり友誼と協力を確かめるようになったことは非常に時宜適切なことだと考えます。

私は 1999 年以後今年で 2 度目の開催となる韓日知事会議がより多く開催され経済・社会・文化など交流領域をより一層拡大して行って、民間交流も促進して相互発展を成し遂げて行くことができることを希望します。

大陸の起点であり太平洋に向けた関門という地形的な関係で、私たち全羅南道は過去の百濟以前から日本とは多くの交流をしてきました。そして、今でも韓日海峡沿岸に位置している福岡・佐賀・長崎・山口各県と交流しています。

この他にも、私たち全羅南道の木浦市と大分県別府市、麗水市と佐賀県唐津市、そして羅州市と鳥取県倉吉市が姉妹都市締結を結んで交流しています。

今後は、このような交流がより一層拡大するだけでなく、友好増進の次元を越えて発展を加速させる実質的な交流協力がなされることができるように万全の努力を傾けます。

今日の会議が両国の地方自治発展に大きな寄与をできることを希望して、この席にいらっしゃるすべての方々の家庭に健康と幸福が充満するよう祈願します。ありがとうございました。

(3) 2次会議：議題討論（フリートーキング）

○李明博全国市・道知事協議会会長

1つ提案があります。第1回を99年に開催し、第2回を3年ぶりに開催をしました。次をどこで、いつにしますか。個人的には、数年に1度だと交流がおろそかになるので近いうちに会うのはどうですか。日本側から何かありますか。

○土屋全国知事会会長

ただいまの李明博会長さんのご発言に対し私も全く同感でございます。いづれ早いうちに東京で開催を…。

○韓国側

1回目が日本、2回目をソウルで開催していますので、3回目は日本では…。

○李明博全国市・道知事協議会会長

日本での開催でいいと思うが、東京での開催とおしゃったのか。

○土屋全国知事会会長

はい、そうです。

○韓国側

他の場所ができれば。

○土屋全国知事会会長

まあ、できれば私のところが東京の隣でございますので、まあ、神奈川でも結構ですし、我が埼玉県でやっていただければ、有り難いです。とてもいいところですよ。今のは冗談、ジョークでございますが、場所につきましては、事務レベルで検討させていただきます。

○李明博全国市・道知事協議会会長

場所は事務局で検討を行い、いつ行うかですが。

○片山鳥取県知事

私は、日本側と相談していないが。先ほど、ソウル市長さんもおっしゃい

ましたけれども、2年に1回ですと、その間に人が代わったり、忘れてりする可能性もありますので、場所は毎年交互に日本側と韓国側でやる方が、より友好を深められていいと思います。今年はソウルでやりましたけれども、来年は4月に統一地方選挙が日本でありますから、それ以後の適当な時期に日本で開いたらどうかと思います。

○李明博全国市・道知事協議会会長

毎年やろうという提案ですが、いかがですか。忠清南道知事。

○沈大平忠清南道知事

鳥取県知事に同意します。

○李明博全国市・道知事協議会会長

日本側からのご意見は。

○土屋全国知事会会長

李明博会長、各知事さんからもご意見が述べられましたが、そのご意見を踏まえ、事務局で検討させていただくということでいかがでしょうか。

○李明博全国市・道知事協議会会長

原則、鳥取県知事の提案で、事務レベルで検討する。

○韓国側

1つ提案ですが、毎年行うことが負担となるのでは、似たようなところ(団体)で1年に1度行い、代表団としては2年に1度でもいいのでは。

○李明博全国市・道知事協議会会長

実務者レベルで決めるということで。

○土屋全国知事会会長

賛成。

○李明博全国市・道知事協議会会長

緊密に協力して実務者会議に任せます。他に意見はありますか。

○土屋全国知事会会長

アジアにおきまして初めての日韓両国共催によるワールドカップサッカー大会が大統領のご熱意、韓国国民のご協力によりまして大成功に終了することができました。そこで、私の埼玉県においては、63,000人の専用の球場をつくりました。これをつくることに対しまして県民の賛成・反対とさまざまなご意見がございました。そこで、私は次の時代を担う子供達に夢と希望を与え、そして、これをつくることによってアジアのサッカーのメッカにしようということと、併せて、先の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて防災対策場をつくろうと、3つの私の考え方を県民に示し、ご理解をいただきまして、サッカー場が完成し、準決勝を含めて4試合が行われた訳でございますけれども、そこで、私は全国10ヶ所の自治体においてサッカーが行われた訳でございますが、特に日韓両国の次の時代を担う子供達にサッカーを通じての交流によって世界の平和に貢献したいという考えをもっております。先般、中国を訪問した時も、中国の要人にもこのことを話しましたら、素晴らしいことだと、大いに協力をしますということをしてですね、言われたような訳でござ

ざいまして、このことを私から提案をさせていただきたいと思います。

○李明博全国市・道知事協議会会長

ワールドカップ後で個人的にはいいと思う。意見をお願いしたい。

○韓国側

リーグ戦を行うとか。

○土屋全国知事会会長

大変有り難い発言でございまして、感謝いたします。

○片山鳥取県知事

私も、折角、日韓共同でワールドカップサッカーを開催して成功しましたので、この日韓両国の国民がお互いに強い関心をもったこの盛りあがりを通じて継続する施策をやっていくのは大賛成であります。スポーツだけではなくて、文化とか芸術。特に若い人達の文化交流に力を入れたいと思っています。小さい頃、若い頃に異文化を体験するということは、私は大変有意義だと思っています。それは相手の文化、それをよく認識して、尊敬する。このことは非常に大切なことだと思います。また、違った文化を体験して、そのことを通じて、自分の持っている文化をまた見つめ直すということ。こういう機会にもなりますから、是非、子供達に小さい時から異文化体験をさせたいと思っています。特に日韓の間では、小さい時から相互の文化交流をすることによって、お互いをよく認識して、相手の持っている文化とか価値観とかライフスタイルとか、そういうことをよく認識をする。そういうことによって相互の理解が進んで、相互の信頼関係とか、それから、相互の信頼関係とか相互の尊敬の心、これが芽生えるんだと思います。

もう一つは「言葉」、お互いに相手の言葉をよく学ぶということが大切だと思います。私も韓国語を勉強しましたがけれども、言葉を勉強するとその言葉を使う人達に対する関心がずーと強くなります。その言葉を使う人の持っている価値観とか文化とか、歴史とか伝統とかライフスタイルとか、そういうことに対して関心が強くなってきます。そうすることによって、私はますます日韓の間の相互信頼が進むと思いますので、是非、スポーツとスポーツだけではなくて、文化・芸術さらには、できれば言葉を相互に学び合うということをこれから我々地方団体のレベルで促進したらいいと思います。

○李明博全国市・道知事協議会会長

実務レベルで具体的に検討する。

○土屋全国知事会会長

全く異論ありません。大賛成。

○朴光泰光州広域市長

観光など分野別情報の共有を両国の自治体で。まず、推進方法として、ソウル市と日本全国知事会のHPとを結び、いずれは市・道知事協議会のHPと結ぶ。2段階として、地方分権、マーケティングの共同研究。2003年上半期に実務レベルで検討を行うことを提案する。

○李明博全国市・道知事協議会会長

前進的なテーマで、観光、交通の情報交換、分野別研究。形式的なものから実質的なものへと。実務レベルでの協議が必要ですが。

○片山鳥取県知事

私も基本的に賛成であります。といいますのは、日韓の間は、例えば、地方自治の制度でありますとか、行政の仕組みとか、行政の中の各分野のシステムとかが非常によく似ています。似ていますが決して同じではなくて、相互にそれぞれ改善をしたり、改良したりしています。私も中央政府に居た時も、それから今、鳥取県の行政をやる上においても、韓国の制度をよく調べて、その中から、我々の制度を改善したということもよくあるんです。

ですから、お互いに基本的によく似ているけれどもそれぞれ改善をして、違う仕組みを今運営している。それを相互に学び合うということは大変有意義だろうと思います。具体的にどういうやり方がいいのかは、実務レベルで検討した方がいいと思いますけれども、基本的には日韓の間で地方行政が担う、各分野、環境であったり、交通であったり都市問題であったり、税であったり、男女共同参画であったり、いろいろな重要な課題について、お互いが情報交換をして、相互に学び合うというシステムをつくったら大変有意義だろうと思いますので、基本的には賛成であります。

○李明博全国市・道知事協議会会長

ソウル市では環境復元事業を進めております。アメリカ、ヨーロッパに似たような事業がないか調べた。お互いに必要なことを情報交換して。

○増田岩手県知事

先程の光州市長さんのご提案、大変いいことだなと私も思っております。最近ですね、私どもで実は少し環境問題で困っていることがらがございます。それは、中国からですね、最近黄砂が大変飛んでくる。報道をみていますと、ソウルを始め韓国国内は我々よりもっと近いですから、もっと被害に合っているようにございますけれども、年々黄砂が大変ひどくなってまいりまして、こちらにくる一週間ぐらい前にも、日本の方で少し観測されたといったようなこともございます。これが、ただ単に、洗濯が大変困るとか、そういったことだけでなく健康被害だとか、それから全国土に降りそそぐもんですから、農業生産などにどのような悪影響が及ぶのかといったことが実はあまりまだ解明をされておられませんし、環境問題でもやはり日韓両国で様々なデータを集め、蓄積し、分析をして、それでまた対策を考える。勿論それから、また私どもの方でも中国の方について植林事業なども少しづつやっておりますけれども、そういった国境を越えた国際的な問題なども、これから日韓両国でいろいろ検討ができればなど、そんなことも思っております。是非、今出ました提案を具体的に検討して、前に進めていければなど、そんなふうに思っております。

○李明博全国市・道知事協議会会長

本当にそのとおりです。韓国も黄砂問題が大きい。非常にいい話題で、日中韓の共同の問題。

○沈大平忠清南道知事

静岡県で開催する花博覧会に参加予定ですが、個別に接触している。知事会は日本を代表して、韓国側の代理を市・道協議会で行って情報提供が出来るようにしたらどうか。

○李明博全国市・道知事協議会会長

エキスポの参加情報等が分からない。北海道知事いかがですか。

○堀北海道知事

たぶんデータベース化の話だと思いますが、お互いにホームページを立てるときに、私どもは今観光関連のホームページを用意しておりますが、これは英語と韓国語、中国語、日本語はもちろんですが、だいたい4カ国ぐらいでホームページを立ち上げる準備をしております。ですから、もし可能であれば韓国側も是非日本向けにですね、日本語のホームページを立てていただければ、これは環境の問題も同じだと思いますけれども、お互いにそれぞれの情報ですね、容易に得ることができるのではないかなと、そういう努力をお互いに進めることが大事ではないかなと思います。

環境の問題も岩手県知事がおっしゃるとおりでありまして、私ども今中国の黒竜江省とこの環境問題でプロジェクトをつくりまして、いろいろ協議をしたりですね、3年程前から私どもがボランティアで中国へ行きまして、木を植えるような行事をやっております。身近な環境問題も大事ですが、地球規模の環境問題も地方レベルから進めていくことが大変大事ではないかと思っておりますので、是非、またそういう意味でこの環境問題も日韓、あるいは日・韓・中国も含めた共通の地方レベルの課題として、積極的に取り組んで方がいいと思っております。

○土屋全国知事会会長

情報通信の発信については、私は賛成です。我が埼玉県の北の方に本庄市という10万人ぐらいの小さな都市がありますが、ここ政府の協力をいただきまして、環境・情報とか、世界に向けての発信基地にしようということで今作業が進められております。併せてまた産学官ということで、早稲田大学のご協力もいただくことになっております。

左様なことから、先程のご発言には、私は賛成します。

○姜賢旭全羅北道知事

10年ぐらい公務員の交流を1か月程度の期間で行っているが、1年以上勤務することがいいと思う。

○李明博全国市・道知事協議会会長

派遣勤務について、個人的には同意、ソウル市は。

○片山鳥取県知事

私も公務員を中心にした人的交流というのは、非常に有意義だと思います。ちなみに鳥取県の例をいいますと、今から8年前から、韓国との間に相互に長期間の、1年間ですけれども、1年間の相互派遣交流をやっていきます。そうしますと、言葉は非常にうまくなりますし、それから鳥取県から行った公

務員は、韓国のことを熟知して帰ってきます。それから韓国から鳥取県庁で仕事をした人がまた帰りますと、鳥取県の良き理解者になります。そういう人がかなりたくさん増えていまして、その人達を中心となって、これからますます日韓交流を進めていくことになりますので、私は大賛成であります。今まではどうしても姉妹提携などを通じて個別な交流が中心となってますけれども、是非、個別の交流が他の地域に対して排他的に働くのではなくて、むしろ個別の交流を拠点、基礎にしながら、他の地域も呼びこむようなグループ交際とかですね、こういうような複数の団体の交流につながっていけばいいと思いますし、それから今回の知事会議などを通じて、もっと全国レベルで幅広い交流をするのがいいと思います。

先程、忠清南道の知事さんがいわれましたけれども、いろいろなイベントなどを日韓でやってますけれども、どうしても個別な交流のところだけに声をかけて、他の団体の参加がないとか、知らないということが多いです。これを是非、他の団体とか、全国的に広く知ってもらえるような、そういう情報交換をしたらいいと思います。鳥取県では今年国民文化祭というのをやったんですけれども、そのときには韓国からもずいぶん参加をしてもらいました。国民文化祭を通じていい日韓交流になったと思います。

その時には羅州の子供達とか江原道の舞踊団とか、それから霊山国楽団の皆さんにきていただいたんですけれども、もっときていただいたらもっといい会になったと思っています。

それから我々は、例えば京畿道で行われました世界陶磁器博にも出展をしたり、それから忠清北道で開かれた世界バイオ博にも出展したんですけれども、それもたまたま知ったので、出展したんですけれども、おそらく我々の知らない韓国でのイベントがまだまだいっぱいあると思いますから、システムとしてお互いがよく分かるようなそういう情報交換の仕組みをつくったらいいと思います。

○李明博全国市・道知事協議会会長

マスコミへの発表の関係があるので、これで会議を終了したい。

共同発表文

- 1999年日本の東京で開かれた初会議に引続き、大韓民国ソウルで開催された「第2回日韓知事会議」では、
 - 日韓両国の中央政府が追求している「21世紀新しい日・韓パートナーシップ」を作り出して行くことにあたり積極的に同参しながら、地方分権と地方財政拡充方案など地方自治発展のための情報を共有することにした。
 - また、地域住民間の文化交流を含め多様な分野で相互交流を展開することにより、両国の地方自治体間の協力を強化して共同発展を図ることにした。

- 韓国と日本で共同開催された「2002年ワールドカップサッカー大会」が全世界の人々の賞賛を受け、成功裡に幕を閉じたことにより、
 - 両国間の友好的な雰囲気と大会の熱気が持続され、両国の発展に寄与できるようにすることにおいて、日本と韓国の地方自治体が力をあわせ、先頭に立っていくことにした。このための、より具体的な実践方案は今後協議することにした。

- 「日・韓自治体交流の促進」という議題を持って進行された「第2回日韓知事会議」では、
 - 世界的な関心事である生態系復元問題と資源再活用など親環境的模範事例を含め交通・都市計画など分野別優秀施策、そして創造的な地域発展戦略および成功事例に関する情報を相互共有することにした。
 - 情報の共有のため、日本の全国知事会と大韓民国の全国市道知事協議会は、オンラインネットワークを構築し、緊密な関係を維持していくことにした。
 - ワールドカップの成果と熱気を継続させ、両国自治体発展の原動力として発展させるため、文化・芸術・スポーツ・経済・青少年交流など各分野に渡って相互に積極的に協力することなど、「ポストワールドカップ共同対策」を推進していくことにした。
 - それとともに、北東アジア経済圏が世界経済の中心として成長している中、日・韓両国の地方自治体間、一層成熟したレベルで実質的な交流・協力を強化していくことにした。

- 日韓両国において、地方自治の発展と国際的機運の高まっている地方分権の進展が一層はかられ、さらなる地方自治の基盤が確立されていくことを期待し、次期の「第3回日韓知事会議」は、日本で開催することに合意し、2003年の上半期に「実務会議」を通じて具体的な方案を設けることにした。

3 共同記者会見

○李明博大韓民国「全国市・道知事協議会」会長／ソウル特別市長

それでは、これより第2回日韓知事会議に関する記者会見を始めたいと思います。始める前に両国代表団の団長を紹介いたします。

まず、日本側代表の土屋義彦全国知事会会長をご紹介いたします。土屋会長は、環境庁長官、参議院議長を歴任され、現在、埼玉県知事であります。

それから、韓国側の代表ですが、李明博全国市・道知事協議会会長で、現在、ソウル特別市長です。

共同発表文をとりまとめましたので、発表いたします（26頁参照）。

○土屋義彦全国知事会会長／埼玉県知事

本日は、日韓両国の知事と市長さん方が一堂に会しまして地方自治の在り方等について真剣な討議がありましたことを心から喜んでおります。特にただ今、韓国側から発表がありましたように共同発表文に明示されておりますが、オンラインネットワークを構築して情報交換を行うことや、アジア初の日韓両国共催のワールドカップサッカー大会が大統領の協力、そして韓国国民の大変な協力をいただきまして大成功裡に終了できました。わが国と韓国の間においては過去に不幸なこともございましたが、これからは次の時代を担う両国の青少年の皆さんにサッカーを通じて世界の平和に貢献してもらおうと発言をいたしまして、ご理解をいただきました。他にも人的交流、芸術、文化とかについても大いに活発に交流をしていこうということで意見の一致をみた次第です。次回は日本で開催。また、いろいろなご意見もありましたが、それらについては実務会議で来年上半期に行うことでも合意に達した次第でございます。

○質疑

先ほど、オンラインネットワークでの情報交換とありましたが、もっと具体的に話し合われたことがありましたら。

○土屋義彦全国知事会会長／埼玉県知事

オンラインネットワークの構築については、先ほど私が申し上げた通りです。具体的には実務会議で検討する。

○李明博大韓民国「全国市・道知事協議会」会長／ソウル特別市長

情報を共有することとは大事だと思います。来年の上半期に実務者レベルで話し合うことになりました。国と国との間での情報の共有化は限界に達していると思うので、これからは各地域ごとの情報の交換が行われるべきだと思っている。

○質疑

ポストワールドカップ共同対策ですが、各分野での積極的な協力と書かれています。具体的な協力の話が決まったことがあるのか、もしくは、会議で何か面白い意見があれば聞かせただければ。

○土屋義彦全国知事会会長／埼玉県知事

私は、1998年、金大中大統領就任式に呼ばれて来ましたときに、金大中大統領に対して、日本の全国知事会は日米知事会議、日ロ知事会議、日中知事会議があるけれども、一番肝心な隣国韓国と間に知事会議がないので、私は是非これを立ち上げたいと大統領に進言しましたところ、大統領が非常に理解を示していただき、高建当時のソウル市長に呼びかけていただきまして、おかげさまで立ち上がりまして、第1回の知事会議を東京で1999年に行われました。

今回、2回目が行われた訳でございますけれども、その時も私は大統領にワールドカップサッカーが終わった後、特に両国の子供達とサッカーを通じた交流を実現をしたいと話したところ、すばらしいということで、埼玉県では今回のワールドカップサッカー大会において準決勝を含め4試合が行われ、韓国国民はじめ関係者のご努力によって大成功裡に終了したので提案をし、皆様のご賛同を得られました。できれば、日韓だけでなくアジア各国の子供達とのサッカーを通じての交流に力を入れてまいりたい。先般、私、中国を訪問する機会がございましたので、李嵐清國務院副総理にそのことを話しましたら、「素晴らしいことですね、我々も大賛成。」という了解をいただきまして、これをこれから具体的に実務者レベルで話し合っ進めてまいりたいと思っています。

○李明博大韓民国「全国市・道知事協議会」会長／ソウル特別市長

私は、学生時代に韓日国交正常化に反対する運動を展開したが、その後、社会人になって国交正常化は正しかったと思った。今日は、日韓関係に多大の貢献をされた土屋会長と、国交正常化にかつて反対した自分がお会いしたことに歴史の不思議さを感じる。

○質疑

次回の会議はいつ開催されるのか。

○李明博大韓民国「全国市・道知事協議会」会長／ソウル特別市長

毎年行ったらどうかというお話もありましたので、来年の上半期に開催する「実務会議」で決めることになっている。

II 要人表敬の概要

○安相英釜山広域市長主催歓迎夕食会／11月16日(土)

【安市長】

土屋団長とは、3年前の第1回日韓知事会議でお会いして以来である。

今回の会議は、ワールドカップサッカー大会が開催された記念すべき年に、その舞台となった開催地で行われるものである。

18日の本会議に先立ち、本市に立ち寄っていただき、誠に光栄である。釜山市は日本と古くから交流の歴史を誇っており、そのような地で再びお会いできた。さらに交流を深めるきっかけにしていまいたい。

【土屋会長】

ワールドカップサッカー大会やアジア大会を成功に導いた安市長さんをはじめとする、釜山市の皆様のご努力に敬意を表する。釜山市は素晴らしいところで感動した。

日韓知事会議は、私が金大中大統領に提案し、当時の高健ソウル特別市長のおかげで開催できたものである。

私は、政府対政府のオフィシャルな外交もさることながら、地域レベルの草の根外交が大切だと常々思っている。今後、両国の地方自治体のレベルでの交流と相互理解がますます深まり、両国地方行政の発展につながることを心から願うものである。

○李義根慶尚北道知事主催昼食会／11月17日(日)

【李知事】

韓日両国は、21世紀の新しいパートナーシップの構築に向け、経済、文化、スポーツ面での交流が活発化している。

特に、近年は地方の競争力の強化が、国の競争力にもつながっており、両国の地方自治体同士の交流は極めて重要である。今後も緊密な交流ができるように期待したい。

【土屋会長】

私は、かつて英国のサッチャー元首相とお会いした際、サッチャーさんの「自分の国の歴史や文化を大切にしない国は滅びる」と言った言葉が印象的であった。慶州市や慶尚北道の皆さんが、文化遺産を大切にしているのを見て、心から敬意を表したい。

○李明博「全国市・道知事協議会」会長（ソウル特別市長）／11月18日(月)

【李明博会長】

土屋会長は、日韓国交正常化交渉の時代から韓国に深い理解を持ち、両国の関係改善に深く寄与されてきた。「自分は、学生時代に日韓国交正常化に反対する運動を展開したが、その後、社会人になって国交正常化は正しかった」と

思った。今日は、日韓関係に多大の貢献をされた土屋会長と、国交正常化にかつて反対した自分がお会いしたことに歴史の不思議さを感じる。

【土屋会長】

釜山市、慶州市などを視察する訪問プログラムを企画して下さった李会長をはじめとする全国市・道知事協議会の皆様に、厚く御礼を申し上げる。今年、日韓国民交流年でもあり、日本と韓国が共同で開催したワールドカップ大会も大成功のうちに閉幕したが、今後も日韓知事会議の開催などを通し、両国の地方自治体レベルでの交流と相互理解がますます深まり、草の根外交が進むことを期待したい。

○金大中大統領／11月18日(月)

【土屋会長】

日韓共催のワールドカップ大会も成功裡に終了し、今後も、日韓の友好的な流れを受け、青少年の交流などを積極的に進めていきたい。思い起こせば、1998年2月に行われた金閣下の大統領就任式に参加し、閣下にお目にかかった際、私が日韓知事会議の開催を提案したところ、閣下も賛意を示され、高建前ソウル市長の助力も得て、実現に至ったものであり、当時を知る者として感慨無量である。

【金大統領】

今日、李明博ソウル市長、そして土屋義彦埼玉県知事、この両人が代表した両国の市長・知事会議の会議が第2回目を開くようになって、そのようにして皆様が大統領府を訪ねて下さったことを心より歓迎する。

この会議のスタートに若干ではあるが関与した私としては、皆様がこのように引き続き、会議をよく運営されているのを見るととてもうれしく思い、このような地方自治体レベルでの協力これこそ、まさに、国民間の協力に直結することとして非常に大切で、効果的な方法として考えており、心から歓迎して止まない。

さらに、今年2002年に私達が、この会議を開催したことはたいへん意義が大きい。

皆様には今年を韓日交流の年に指定したことに對して、多くの協力をされて、また、土屋知事がおっしゃられたとおり、韓日ワールドカップが、私たち両国が協力して、真に期待以上に、成功的に、開催したことを記念することだけのことはあった年に、この知事会議を開くようになったので、これを契機に両国で、その間に、ワールドカップとか韓日間の交流を成功するように協力していただいた皆様に対して、心から感謝申し上げます。

皆様が、そのように心配していただきましたが、特にワールドカップにおいては、事実私も、はじめは心配が多かった。

昨年9.11のテロ以後に開催されるために、果たして韓日両国の数十箇所で開催されるこの大会が事故なく、円満にできるかという問題、また、韓日両国が本当にこれを協力してよく成功裡に行うことができるかというのに対する心

配もあった。

しかし、結果は、私たちの期待以上で、とても成功的に終わり、世界が羨むそういう業績をわれらは上げた。

私は、今回の大会で、特に、日本国民が私たち韓国チームに対して、継続的に心から声援を送ってくれたその態度を見て、真に感動を受けて、また、感謝の気持ちを抱いた。

今、韓日両国国民は、過去には想像出来ない親近な関係が形成されているのを見る。

私は、1998年10月、日本を国賓訪問して、当時、小渕首相と共に、21世紀新しい韓日パートナーシップを構成することを宣言して、私達が新しい出発をした。

その後、森総理、また、小泉総理など、歴代総理と本当に良い協力関係を維持して、韓日関係が今いつの時よりも緊密になったとのお話ししながら、私自身も、やり甲斐を大いに感じる。

今、北朝鮮の核問題によって、朝鮮半島がだいぶ緊張の中にいる。

このことに対して、日本と韓国は、緊密に意見の完全一致を見ている。

われらは、去る10月26日メキシコのロスカボスで、韓日米3国首脳会談を行った。

そこでわれわれは3国間で合意を得た。

われわれは北朝鮮の核については断固として反対するが、この問題はあくまでも外交努力を通じて平和的に解決するという事に合意したものである。

われわれは今後も韓半島、東北アジアの平和のために韓日米3国が緊密に協力していくことが必要だと考えている。

皆様ご存知の通り、今韓国と日本の間は経済、文化、観光、あらゆる分野でこれまでないほど緊密にお互い協調を進めているところである。

世界化の時代である。

世界の中にわれわれが進出するにあたり、隣同士である韓国と日本が協力してお互い手を取り合って世界の中で共同で協力していくことは両国の国益のためにも非常に重要である。

北東アジアは今世界的に最も成長潜在力が大きい地域として評価されている。

この東北アジア地域でわれわれ韓国・日本両国がお互い協力して経済発展に向けて努力するとき、両国は東北アジア経済発展の中核の役割をすることができると考えられる。

結論的に申し上げるが、韓日両国はお互い過去を清算して未来指向的に協力することが、両国の安全のため、発展のため、そして両国民の親善のために最も重要であるということをして是非強調したい。

そのためには、土屋知事が述べられたように、中央政府間の大きな政治的決断とともに、実際の効果を挙げるためには、第一線にいる草の根の地方自治体どうしがお互い交流し、協力して親善関係を強化させ、相互の利益を目指して

協調していくことが大変重要であると考えている。

このことなしにはどんなに中央政府が決断をしても、真の韓日両国の親善を確立するのは難しいと考えられる。

そのような意味で、今回皆様が開催された知事会議は非常に意義深いものであり、また今後郡・市やあるいは末端の自治体までもがお互い交流をするようになったとき、はじめてわれわれは両国親善の確固たる土台を築くことができると考えており、皆様がそのような方向に向けてより一層努力してくださることをお願いしたい。

今回の知事会議がワールドカップ成功の後に続いて行われるものであるだけに、ポスト・ワールドカップの立場で大きな成功を収められることを希望するとともに、お互い多くの交流協力が行われることを希望する。

もう一度大統領府を訪問して下さったことに感謝申し上げ、私の挨拶の言葉を終えさせていただきたい。

○安相洙・仁川広域市長／11月19日(火)

(表敬訪問)

【安市長】

仁川市は北九州市と姉妹締結をしており、環境、都市計画を中心とした多様な分野で交流を行っている。更なる地方自治体外交推進のためにも、日韓の自治体が相互交流を進めることが重要であると考えている。本日は、松島新都市を視察していただくが、国際ビジネスの拠点、さらに北東アジアの物流の拠点として整備を進めている。経験豊富な皆様に、多くの助言を求めたく、地方自治体の更なる交流拡大に期待している。

【土屋会長】

韓国の空と海の表玄関として、発展している仁川市を訪問できたことをうれしく思う。今回のワールドカップ大会の成功を契機に、日韓両国の相互理解と友好関係がさらに進展し、真の意味で「近くて、近い国」の関係となるよう努力したい。昨日は、金大中大統領を青瓦台に表敬したが、大統領もワールドカップを契機とした日韓の青少年交流と地域交流が重要である。また、第2回日韓知事会議でも、安相洙市長をはじめとする韓国の市長・知事の方々と率直な意見交換ができ、非常に有意義なものであった。

(安相洙仁川広域市長主催昼食会)

【安市長】

訪韓の最終日というお忙しい日程にもかかわらず、仁川市を訪問していただき感謝したい。仁川市は韓国の空と海の表玄関であり、視察いただいた松島地区は、航空、港湾の他に情報通信の中心地として開発していきたい。

【土屋会長】

最先端の情報通信技術をビジネス・住宅・生活エリアに生かした21世紀のまちづくりが進んでいる様子を拝見して感銘を受けた。今年は、日韓国民交

流年でもあり、日本と韓国が共同で開催した世界最大の祭典であるワールドカップサッカー大会も大成功のうちに終わった。今回の日韓知事会議の開催によって、両国の地方自治体レベルでの交流と相互理解が、ますます深まり、両国地方行政の発展につながることを、心から願うものである。

Ⅲ 全国知事会代表団滞在日程

滞在期間 平成14年11月16日(土)～11月19日(火) 3泊4日

11月16日(土)

13:50 福岡空港発 (KE784)～14:50 釜山着 (鹿児島県副知事)

13:30 成田空港発 (JL957)～15:45 釜山・金海 (キムヘ) 空港着
(会長、青森県副知事)

13:45 関西空港発 (OZ113)～15:25 釜山・金海 (キムヘ) 空港着
(鳥取県知事)

19:00 釜山市長主催歓迎レセプション

11月17日(日)

09:00 ホテル発

10:40 慶州視察

11:50 慶尚北道 (キョンサンブット) 知事主催昼食会

↓
慶州視察

17:00 蔚山 (ウルサン) 空港着

19:00 ソウル・金浦 (キムポ) 空港到着

20:00 宿泊先到着、在韓日本大使館主催晚餐会

11月18日(月)

09:00 ホテル発

09:10 李明博全国市・道知事協議会会長表敬訪問 (ソウル市役所)

10:00 ソウル市内視察

11:00 金大中大統領表敬訪問

12:00 昼食 (三清閣)

14:00 第2回日韓知事会議

16:50 会議終了

17:00 日韓代表共同記者会見

18:00 全国市・道知事協議会主催歓送晚餐会

11月19日(火)

朝 離団 (北海道知事、岩手県知事、青森県副知事 -ソウル事務所
開設のため)

09:10 ホテル発

10:00 仁川市長表敬訪問 (仁川市役所)

11:00 松島新都市視察

12:00 仁川市長主催昼食会

14:40 仁川空港発 (JL954)～16:55 成田空港着 (会長)

16:20 仁川空港発 (OZ120)～18:00 関西空港着 (鳥取県知事)

16:30 仁川空港発 (OZ158)～18:05 宮崎空港着 (鹿児島県副知事)

共 同 発 表 文

□ 1999年日本の東京で開かれた初会議に引続き、大韓民国ソウルで開催された「第2回日韓知事会議」では、

○ 日韓両国の中央政府が追求している「21世紀新しい日・韓パートナーシップ」を作り出し、行くことにあたり積極的に同参しながら、地方分権と地方財政拡充方案など地方自治発展のための情報を共有することにした。

○ また、地域住民間の文化交流を含め多様な分野で相互交流を展開することにより、両国の地方自治体間の協力を強化して共同发展を図ることにした。

□ 韓国と日本で共同開催された「2002年ワールドカップサッカー大会」が全世界の人々の賞賛を受け、成功裡に幕を閉じたことにより、

○ 両国間の友好的な雰囲気と大会の熱気が持続され、両国の発展に寄与できるようにすることにおいて、日本と韓国の地方自治体が力をあわせ、先頭に立っていくこととした。このための、より具体的な実践方案は今後協議することにした。

□ 「日・韓自治体交流の促進」という議題を持って進行された「第2回日韓知事会議」では、

○ 世界的な関心事である生態系復元問題と資源再活用など親環境的模範事例を含め交通・都市計画など分野別優秀施策、そして創造的な地域発展戦略および成功事例に関する情報を相互共有することにした。

○ 情報の共有のため、日本の全国知事会と大韓民国の全国市道知事協議会は、オンラインネットワークワークを構築し、緊密な関係を維持していくことにした。

○ ワールドカップの成果と熱気を継続させ、両国自治体発展の原動力として発展させるため、文化・芸術・スポーツ・経済・青少年交流など各分野に渡って相互に積極的に協力することなど、「ポストワールドカップ共同対策」を推進していくことにした。

○ それとともに、北東アジア経済圏が世界経済の中心として成長している中、日・韓両国の地方自治体間、一層成熟したレベルで実質的な交流・協力を強化していくこととした。

□ 日韓両国において、地方自治の発展と国際的機運の高まっている地方分権の進展が一層はかかれ、さらなる地方自治の基盤が確立されていくことを期待し、次期の「第3回日韓知事会議」は、日本で開催することに合意し、2003年の上半期に「実務会議」を通じて具体的な方案を設けることとした。

全国知事会訪韓知事代表団名簿

全国知事会会長
埼玉県知事
Yoshihiko Tsuchiya
President, National Governors' Association
Governor of Saitama Prefectural Government

つちや よしひこ
土屋 義彦 (76歳)

北海道知事
Tatsuya Hori
Governor of Hokkaido Prefectural Government

ほり たつや
堀 達也 (66歳)

岩手県知事
Hiroya Masuda
Governor of Iwate Prefectural Government

ますだ ひろや
増田 寛也 (50歳)

鳥取県知事
Yoshihiro Katayama
Governor of Tottori Prefectural Government

かたやま よしひろ
片山 善博 (51歳)

青森県副知事
Masayoshi Yamaguchi
Vice Governor of Aomori Prefectural Government

やまぐち まさよし
山口 柁義 (63歳)

わきた みのる

鹿児島県副知事
Minoru Wakita
Vice Governor of Kagoshima Prefectural Government

脇田 稔 (59歳)

全国知事会事務総長
Akira Shimazu
Secretary General of National Governors' Association

しまづ あきら
嶋津 昭 (59歳)

〈 随 員 〉

自治体国際化協会
ソウル事務所長
Yoshinori Ishikawa
Director of CLAIR, Seoul
(The Japan Council of Local Authorities for International Relations)

いしかわ よしのり
石川 義 憲 (47歳)

埼玉県理事
Takao Kato
Senior Advisor to the Governor

かとう たかお
加藤 孝 夫 (53歳)

埼玉県秘書課副参事
Tsutomu Fukushima
Associate Director, Secretariat Division of Saitama Prefectural Government

ふくしま つとむ
福島 勤 (46歳)

埼玉県国際課専門調査員
Munetoshi Shiihashi
Group Manager, International Division of Saitama Prefectural Government

しいはし むねとし
椎橋 宗 利 (45歳)

いしかわ ひさとし

北海道総合企画部次長

石川久紀 (52歳)

Hisatoshi Ishikawa

Deputy Director General, Comprehensive Planning Department of Hokkaido Government

たなせ まさもと

北海道総務部秘書課秘書係

田名瀬雅元 (38歳)

Masamoto Tanase

Senior Staff, Secretarial Division, Office of the Governor, General Affairs Department of Hokkaido Government

ほうき たかし

岩手県総合政策室主席政策監

法貴敬 (52歳)

Takashi Hoki

Senior Director, Department of General Policy, Iwate Prefectural Government

みなみ としゆき

岩手県総合政策室秘書課主任秘書主査

南敏幸 (40歳)

Toshiyuki Minami

Senior Secretary, Secretarial Division, Department of General Policy, Iwate Prefectural Government

いわした ひさのぶ

鳥取県国際交流第一係長

岩下久展 (35歳)

Hisanobu Iwashita

International Exchange Section1 Chief, Tottori Prefectural Government

チョン

鳥取県国際交流員

鄭ロア (25歳)

Jung Ro A

Coordinator for International Relations, Tottori Prefectural Government

じん なおふみ

青森県政策推進室主幹

神直文 (44歳)

Naofumi Jin

Director General, Policy Planning Office of Aomori Prefectural Government

青森県副知事秘書
Tetsuji Yamaya
Secretary of Vice Governor of Aomori Prefectural Government

やまや てつじ
山 谷 哲 司 (34歳)

鹿児島県総務部秘書課主幹兼秘書係長
Masakichi Terachi
Asistant Director and Section Chief, Secretariat Division,
General Affairs Department of Kagoshima Prefectural Government

てらち まさきち
寺 地 正 吉 (49歳)

鹿児島県総務部国際交流課国際交流員
LEE. Eon Yong
Coordinator for International Relations,
International Affairs Division,
General Affairs Department of Kagoshima Prefectural Government

イ オンヨン
李 彦 ・ (31歳)

全国知事会国際部長
Takao Miyata
Director, Internatinal Affairs Division of National Governors' Association

みやた たかお
宮 田 孝 夫 (60歳)

全国知事会調査第二部主事
Kiyoshi Aihara
Staff Member, Second Reserch Division of National Governors' Association

あいはら きよし
相 原 清 (33歳)